

皆様の身近にグリーン（観葉植物等）はございますますでしょうか？

最近の建築雑誌やインテリア雑誌を開くと、必ずと言って良いほど、グリーンがインテリアの中に取り込まれています。（新築祝いで頂くのかもしれないが・・・）観葉植物の流行は今に始まった訳ではなくて、結構前から気軽に楽しまれていましたが、ここ最近の観葉植物は、一昔前の観葉植物に比べ、あしらい方が違ってきている様に思えます。

私の勝手な検証では、最近の建築デザインが、装飾を削ぎ落としたシンプルなものに変化して行く中で、形に特徴があつて存在感のある観葉植物がインテリアの差し色となり、空間のアクセントをつくりだすアイテムツールとして使用されているのではないかと思っています。一時期、和モダンがブームとなり、和ダイニングと称する飲食店が流行ったり、小規模な温泉旅館が高級路線に転換する為に、次々とリニューアルした頃は、グリーンも流行も苔玉（こけだま）やバンブー（竹）であつた事を思えば、昨今のグリーンの使い方が、単に観賞のものでは無く、インテリアと一体化した空間に必要とされるアイテムになってきた事を象徴していると思います。

そもそもインドアグリーンの役割とは、室内にいなから自然の（屋外の）エッセンスを楽しむ事ができると言う事にその楽しみ方があります。

日本の建築手法を表す言葉に「庭屋一如」（ていおくいちによ）という言葉がありますが、これは、「庭と室内は一つのもの如し」と言う意味で、元来、日本人は室内空間にいなから自然を愛でる事を重要視してきました。室内だけに留まらず、室外を意識を広げる工夫を建築に取り入れるにより、自然を室内の装飾に置き換え、四季の変化を楽しんできました

又、四季折々の花を生け込んで、床の間（このま）にかざったり、玄関先に一輪差しを飾って楽しむ事も「庭屋一如」の精神に当てはまると思います。日本において、華道が発達したのも、日本人特有の感性があればこそではないかと思えます。

ヨーロッパでは、日本とは違い、戸建の住まいが多い訳ではないので、自然を描いた絵画を飾ったり、窓際やテーブルの上に植物を飾り、上手にインドアグリーンを楽しんでいます。

商業施設でもグリーンをインテリアのアクセントに利用しているケースが多く、特に「癒し」をテーマにしているショップデザインには必ずと言って良いくらいグリーンを上手にインテリアに取り込んでいます。例えば、カフェやエステサロン等のインテリアがそうである様に、最近の住宅のインテリアにも、カフェのような癒しのエッセンスを取り入れたいと言う要望が増えてきている中で、グリーンを適度に取り入れることは有効な手段だと思えます。

よく、気分転換に模様替えをされる方がいらつしやいますが、グリーンをインテリアに付け加えるだけでも、だいぶインテリアの感じが変わってくるのでお勧めです。

インテリアショップである当社でも、インドアグリーンを重要視しており、2ヶ月に一度、県外の市場に直接買い付けにしております。

実は、観葉植物の売れ行きが良く、仕入れてきた観葉植物を花器に植え付ける前に、予約が入るほどです。これも、グリーンをインテリアとして楽しむ人が増えてきている事を示す、重要なバロメーターになっていると思っております。（そのうち、仕入れの頻度が増えて、お花屋さんみたいになつてしまうような気がします・・・お店の外観がそれっぽいので・・・）

最近の住宅事情を考えると、敷地の広さや、プライバシーの取りにくい立地条件から、庭のスペースを設けにくくなっているため、観葉植物は、手軽にグリーンを楽しむアイテムとして重宝します。

観葉植物を選ぶ上で重要な事は、その時々ライフスタイルにあったインテリアに沿って選ぶ事です。例えば、小さいお子様や、ペットを飼われている方は、大き目の鉢を選ぶより、小さな鉢を、所々に散りばめて楽しむ方が良いでしょうし、ショップやアトリエのインテリアに付け加えるには、シンボルとなるくらいの存在感のある形の大鉢を置く事をお勧めします。

ちなみに、我が家（アパート）では、あまり観葉植物の世話ができない嫁と、暴れん坊の娘（一歳）がいるので、中鉢のセローム（あまり手間がかからず育てやすい品種）が棚の上に鎮座しております。



グリーンがあるだけで、上質なインテリア空間を演出できる。



仕入れた観葉植物を丁寧にトラックへ詰め込む。帰宅は夜中かな？



ジャングルの中を突き進むよう・・・



花器に植え付けした時の事をイメージして・・・



大・中・小の観葉植物が整然と並ぶ



ポイントは存在感の出る形を選ぶ事！



関西にある市場まで観葉植物を仕入れに行っています。数ある観葉植物から、気に入った物を探し出すのは大変です。



観葉植物に活力をつける為、土づくりに精を出す。地味な工程を踏んで色鮮やかな観葉植物が出来上がる。



花器に植えつける際に、家具との調和を考えて、植えつける向きを決める。



インテリアイメージに合わせた花器に、仕入れた観葉植物を植え替える。

観葉植物に存在感を演出する為に、形に変化のある、奇形のものを選んでいきます。

又、観葉植物をインテリアアイテムとしてセンスアップする為に、観葉植物の特徴を生かしてくれる花器と合わせて展示しています。

飾りたい場所や、ライフスタイルに合わせて、大きさや、品種を選ぶのがコツです。

